

会 議 録

会議の名称		令和８年度第２回光輝学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和８年(2026年)８月５日（水）開会 9:30 閉会 11:00		
開催場所		つくば市立手代木南小学校 北館１階会議室		
事務局（担当課）		生涯学習推進課		
出席者	委員	須藤 路子、江田 麻裕子、佐伯 朋子、鈴木 咲記、 宮腰 清一、舘野 清子、杉田 ひろみ、河野 博一、 木下 未佳、吉岡 良治、足立 透、近藤 大雄、野口 恵実 松代小校長：横田 康浩 教頭：清水 匠 教務：野尻 和幸 葛城小校長：村田 健一 教頭：小松原 美香 教務：笠松 晶 手代木南小校長：石田 容之 教頭：矢口 紗希子 教務：原口 知武 手代木中校長：荒井 克彦 教頭：菅沼 祐子 教務：内田 尚樹		
	その他	武藤 加代子、森田 みなみ、植木 直子、須田 玉枝、 柴崎 裕子、雑賀 奈緒美、木村 新一郎、橋田 周平、 山根 健太郎、根本 賢		
	事務局	教育局生涯学習推進課 課長 澤頭 由紀子 参事 山口 健次 係長 松橋 千栄 主事 染谷 彩乃 社会教育主事 柴崎 英二 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	０人
非公開の場合はその理由				
議題		「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」 ～地域と連携した活動の充実に向けて～		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	１ 開会 ２ 会長あいさつ ３ 自己紹介 ４ 熟議			
	「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」 ～地域と連携した活動の充実に向けて～			

	(1) 各校グループによる熟議 (2) 各校の発表および他校からのフィードバック (3) 付箋をもとにした各校でのまとめ (4) 今後の予定 5 閉会
--	---

<協議内容>

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 熟議 「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」
～地域と連携した活動の充実に向けて～

【ファシリテーター：木下委員】

木下委員 本日は、まず各校ごとにテーマについて、目指す児童生徒像や学校の課題を、地域学校協働活動にどのようにしてつなげられるかについて話し合いを進めていただきたい。

- (1) 各校グループによる熟議
- (2) 各校の発表および他校からのフィードバック

○葛城小

- ・児童は、素直で何に対してもやってみたいという意欲のある子が多い。一方、興味のないことには、意欲が湧かない児童や、やればできるにもかかわらず、その他大勢になっている児童も見られている。そこで、地域学校協働活動を通して児童が様々な活動を体験することで、児童の自己有用感や自己肯定感を高めていけたらと考えている。
- ・葛城版コミュニティ・スクールでは、昨年度に引き続き、リサイクル活動（2回）や防災教室（4年生）、キッズフェス（全校参加）を実施していく。
- ・環境整備への保護者の方の参加が少ないため、もっと多くの方に関わっていただけたら有難い。そこで、今年度から環境整備を葛小応援団とコミュニティ・スクールとの共催とすることで、保護者の方だけでなく、たくさんの地域の方にも参加いただける活動にしていきたい。
- ・今年度は、1年生の生活科で実施している昔遊びの活動についても、コミュニティ・スクールの活動としていく。毎年、地域の方にたくさん御協力いただいているので、コミュニティ・スクールの活動とすることで、さらに活動を充実させていきたい。
- ・高学年の家庭科で行うミシンや調理実習のお手伝いなどについては、今後、話し合いを行う中で、コミュニティ・スクールの活動として実施できないか検討していく。

○手代木南小

- ・児童の興味・関心が非常に多岐にわたっており、従来の授業枠のみでは網羅しきれない点が課題の一つである。本校の学区内には多様な専門分野で活躍する人材が多く存在するため、今後は教育活動への積極的な活用につなげたい。また、I C Tの画面上では得られない、五感を伴う「実感を伴う体験学習」の充実も求められている。
- ・本年度、5年生で初めて「赤ちゃん教室」を実施した。児童にとっては命の温もりに触れ、キャリア教育にもつながる貴重な体験となった。また、参加した地域の保護者（母親）にとっても、学区内の小学校の様子や雰囲気を知る良い機会となった。
- ・本校では「てみなみんな」や「おやじの会」が中心となり、ボランティアの募集をはじめ、「手南まつり」「星空観察会」「田植え体験」などを展開している。子供たちの豊かな体験活動の場として非常に有意義に機能している。
- ・今年度よりボランティアアプリ「Hi!」を導入し、休み時間や水泳授業における安全見守り活動等への協力を得た。現在はP T A会員を中心とした運用にとどまっているため、今後は利用対象を地域住民全般へ拡大するか検討を要する。
- ・今後の課題は、地域と学校のつながりをいかに強固にするかという点である。地域の諸団体の中には「学校支援のために協力できることがあるのではないか」と模索している組織もある。地域交流センターや近隣幼稚園なども含め、関係者が一堂に会する協議・意見交換の場を設定していくべきか検討を進める。
- ・取り組みを持続可能なものとするには、義務感や強制による参加ではなく、地域住民が「自主的かつ楽しみながら関われる仕組み」をどのように構築していくかが重要である。

○松代小

【進捗状況の確認】

- ・今年度の進捗状況の確認。直近の松ボラでは8/28の清掃作業がある。平日開催のため、職員が参加できるというメリットがある。また、子どもたちにとっては、夏休みに校内に入ることは嬉しいことであり、心理的な面で夏休みが終わる前に学校に来ておくことで、9月に登校しやすいのではないか。
- ・C S委員のアドバイスを活かし、チラシでは参加してくれた方（地域の方）の声を入れることでより良い周知につながっていると思う。

【校内清掃について】

- ・松ボラ関連の行事については、始めは地域の方は興味関心をもって参加してくれるが、こうした動きを継続していくことが難しいことである。地域の人にとっては、子供の姿が見えないことが課題であり、地域と子供との関わりが生まれると継続的な活動につながると思う。どのように関わりをつくっていけば良いか。

- ・清掃作業の後に子供たちにメッセージを書いてもらい発信できると良いのではないかな。
- ・次回の松ボラ（8/28）で初めて「地域、学校、子ども」が集まる。集まるからこそリスクも生まれるのではないかな。運動会に地域の人を呼ぶという案も出たが、不必要に子どもを撮影していたという他校の事例もあるため、リスクを考えていかなければいけない。
- ・関係作りという点では、まずは子供たちの登下校のときの挨拶が基本にあるのではないかな。そういう基本的なところを充実してほしい。
子供たちが地域に関心を持ち、自分たちから挨拶ができるといい。日々の生活の中で挨拶をされると地域の人々は自然と学校に関心が向くのではないかな。
- ・子供にとっては「誰にでも挨拶をする」ということは難しいこと。以前挨拶をして嫌な顔をされたこともある。

【学習支援について】

- ・学習支援については、個別指導が充実するというメリットがある。しかし、保護者の方にとっては、急な対応が難しいときもある。
- ・最近の教室での子供たちの様子を見て感じていることは、子どもたちに元気がないということ。学習意欲は生涯学習の面でも大切であり、学習支援は子供たちの生涯の学習を支援することにつながる。先生方が日々こなすカリキュラムに埋もれてしまうところを地域が協力できれば良い。
- ・松代地区は優秀な人材が多くいる。そういったリソース（人材資源）を上手く活用することで子供たちの学びの欲を生み出していきたい。これに関しては、リスト化されていると活用しやすい。ここに関してはどうしていくかは今後の課題である。

○手代木中

- ・美化フェス（環境整備活動）への地域ボランティア募集に向けて、地域へチラシの回覧を行ったが、地域の方のボランティア登録はまだない。まずは、イベント（体育祭や合唱祭等）の参観案内を出し、中学校と関わっていただく機会を増やすことが必要なのではないかな。関わりができてこそ、ボランティアに行ってみようという方も増えてくるのではないかな。
- ・地域の方が中学校と関わるきっかけとして、体育祭や合唱祭リハーサル、美術部の作品展示などを公開できると良い。その公開の案内チラシを作成、配布していきたい。
- ・地域には、いろいろな方がいらっしゃる。その力を活用して、キャリア教育の一つとして、地域の人から学ぶ（例「ようこそ先輩」）機会ができると良い。そのためにも「人材バンク」を作りたい。

(3) 付箋をもとにした各校でのまとめ

○葛城小

【他校からの肯定的評価】

- ・様々な体験活動を行うことで、児童が自ら進んで取り組む姿勢を育てることにつながる。
- ・既に地域の力を借りてコミュニティ・スクール主導で活動を行っていることが素晴らしい。
- ・児童と地域の関わりの作り方が良い。互いに学び、高め合える。

【他校からの提案から】

- ・他校との交流を負担なくできると、今まで関心がなかったことにも目を向かせることができるのではないかな。
- ・専門性の高い授業となるよう地域の人材を活用できるようにすると良いのではないかな。
- ・児童が興味のある分野をもっと展開していくのはどうか。

○手代木南小

- ・赤ちゃん教室の取組は他校からの関心も高い。
- ・今後は、学校側が地域に協力を仰ぎたい内容を計画的に精査・発信し、地域住民と深くつながる機会を積極的に創出していく。
- ・地域の方と児童との間に顔の見える関係が構築できれば、日常生活における見守り効果が高まり、登下校時の安心感向上にもつながる。

○松代小

【他校からの肯定的評価】

- ・校内での作業を取り入れることで、学校のことを知ってもらえる。
- ・夏休み中にやることで、子供たちにとって有益である。保護者にとっても子供たちにとってもwinwinな活動である。
- ・学習支援も充実してきていて素晴らしい。

【他校からの提案から】

- ・校舎を開放して、祭りのような子供が主体となる活動ができると良いのではないかな。
- 高学年の授業の中でそのような企画・運営に関わる場所を作り、地域と交流できると良いのではないかな。しかし、現状のカリキュラムでは時間を生み出せないため、改善が必要である。
- ・子供が行きたくなるような活動を取り入れることで、地域と子供たちが関わる機会が生まれるのではないかな。
- ・松ボライベントの周知に関しては、学園CSを活用するとより多くの方に知ってもらえることにつながるのではないかな。

○手代木中

- ・「人材バンク」の仕組みができると、キャリア教育、ゲストティーチャー、環境整備等々、いろいろな活動を地域とつながりをもって推進する

- ことができる。人材バンクを学園内で共有できると良いのではないかな。
- ・体育祭や合唱祭りハーサルを公開し、地域の方が参観できる場としていきたい。来ていただいた方に、ボランティア登録などの案内を地道にしていきたい。

(4) 今後の予定

足立会長

- ・本年度光輝学園コミュニティ・スクールを周知するためにチラシを作成した。本年度は手代木中の予算から計上し、次年度以降は別の学校で活用する予定。
- ・今後、各学校と地域との連絡については Teams が活用できるか試していきたい。

事務連絡

- ・今年度年 3 回開催予定

3 回目は、令和 9 年 2 月 17 日 葛城小学校にて開催予定

※本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

5 閉会

令和8年度 第2回光輝学園コミュニティ・スクール 協議会

日 時 令和8年8月5日（水）9：30～

場 所 光輝学園つくば市手代木南小学校
北校舎1階会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ 足立 透 様

3 自己紹介

※本年度初めて参加される方のみでお願いします。

順番：葛城小→手代木南小→松代小→手代木中

4 熟 議 「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」 ～地域と連携した活動の充実に向けて～

（1） 各校グループによる熟議

（2） 各校の発表および他校からのフィードバック（付箋記入）

※発表内容に対し、他校の委員の皆様は「参考になったこと」「新たな提案」など付箋紙にご記入ください。

（3） 付箋をもとにした各校でのまとめ

※他校や地域からの客観的な視点を踏まえ、今後の進め方を再協議してください。

（4） 今後の予定

第3回 令和9年2月17日（水）午後 葛城小

5 閉 会